

「わかばクリニック」が スタート!

医療法人啓仁会 わかばクリニック
事務局長 入村 郁夫

平成24年1月1日より森島院長をお迎えした「やはたクリニック」は、4月1日より「医療法人 啓仁会 わかばクリニック」へと名称が新しくなりました。併設する通所リハビリテーション事業所も「ディケアセンター わかば」から「わかばクリニック 通所リハビリテーション」となります。

これからは内科の診療とともに整形外科外来及び在宅療養の充実を目指し、吉祥寺南病院・訪問看護ステーション吉祥寺と連携し、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ等にも力を入れてまいります。地域の「かかりつけ医」として、皆様の健康をサポートしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

【医療法人啓仁会 わかばクリニック】

診療科目

・内科 ・整形外科
・リハビリテーション科

併設事業

・通所リハビリテーション

(定員60名/日)

所在地…東京都武蔵野市八幡町三丁目1番25号
連絡先…0422・52・6600



入職のご挨拶

医療法人啓仁会 所沢ロイヤル病院
医師 山岸 光夫



本年4月1日、所沢ロイヤル病院に常勤医師として入職しました山岸でございます。生まれは、福井県で、現在61歳です。出身大学は、東京医科大学医学部で、大久保院長の5年後輩になります。若い頃は、国立病院医療センターなどで研修し、主に呼吸器内科を専門にやっていますが、その後は、

総合内科、総合診療をやるようにと少しずつ幅を広げてきました。まだまだ苦手な分野もありますが、総合診療能力と幅広い見識をもった医師を目指して、目下、地道に努力を続けているところです。医療の基本は、患者さんやご家族を大事にすることだと思いますが、健康寿命を延ばすことはもちろん、より良い最期を支えることも大切な仕事だと思います。患者さん、ご家族を大事にすること、そして、スタッフとチームワークを大事にすること、このことが不可欠だと思っています。皆さんと力を合わせて、静かにこつこつと頑張っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

医療法人啓仁会 介護老人保健施設 所沢ロイヤルの丘

「ロイヤルの丘 4階花見」

昨年は震災の影響があつて見に行けなかった花見ですが、今年は利用者様の希望もあり車で桜見学に1日5〜6人のグループに分け、4月9日から15日まで行ってきました。場所は所沢市三ヶ島にある「金仙寺」です。

そこでは、見事なしだれ桜を見ることができました。お寺の庭にはうさぎやタヌキの置物もあつてとても雰囲気良かったです。大きなしだれ桜の他にも沈重花や水仙、スズラン、菜の花、木蓮等春らしい花々が至るところにあつて香りもすくよくよく利用者様皆様すくよく笑顔でした。その笑顔を見て職員も元気を頂きました。

今後とも季節に合わせて利用者様が喜んでくださる取り組みを行っていきたいと思います。
介護職員 杉山 太一郎



見事なしだれ桜



さくらたぬき



桜うさぎ



春爛漫の桜の木の下で

サービス付き高齢者向け住宅への制度改正にあたり

ロイヤルケアホーム川島 山下 義之

「高齢者の居住の安定確保に関する法律」の改正により平成23年10月20日より「サービス付き高齢者向け住宅」制度が開始され、このたび平成24年4月1日より高齢者専用賃貸住宅からサービス付き高齢者向け住宅の指定登録機関を申請し、ロイヤルケアホーム川島も新たなスタートをいたしました。

サービス付き高齢者向け住宅とは、住宅としての居室の広さや設備、バリアフリーといったハード面の一定の条件を備えるとともに、ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスを提供することにより、高齢者が安心して暮らすことができる環境を整え、指定登録機関の登録を受けた住宅をいいます。契約に関する

基準では、前払家賃などの保全措置、登録事業者の義務として、登録事項の情報開示(サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム<http://www.satsuk-jitaku.jp/index.php>より閲覧可能)。その他、行政による指導監督として、報告徴収、立入検査、指示等がございます。

高齢者が病院、施設等より退院し、自宅へ帰れない方が多い中、高齢者向け住宅がまだまだ増えていく傾向にあると思われます。今後、川島ロイヤル・ワム・タウンとの連携強化により、サービス向上を図るとともに、安心して生活を送ることができる住宅をめざし努力してまいります。

千羽鶴を被災地に送りました

医療法人啓仁会 いつもの杜 介護職員 山木 志織

東日本大震災から一年が経ちました。地震直後に流れた映像を見て大変ショックを受け恐怖を感じたのを今でも覚えています。いつもの杜と同法人の「石巻ロイヤル病院」(宮城県)は被害に遭いながらも、地域の皆様のために頑張っていることを聞きました。しかし、遠く離れた私たちには何もできないことをとても歯がゆく感じていました。

6フロアで何かできることはないかと皆で話し合い、利用者様とスタッフ一緒に千羽鶴を折り、石巻ロイヤル病院に送ることにしました。

被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復興を願っております。

3月11日に石巻ロイヤル病院に送ることができました。皆様ありがとうございました。

